

③4 沖縄都市モノレール3両化事業

土木建築部

実施主体： 沖縄県、沖縄都市モノレール(株)

実施時期： 令和4年6月～8月頃

<50周年記念事業のテーマ>

4 令和4年度に着工又は完成(一部完成)し、本県の新たな飛躍を展望する大型プロジェクト等を県民をはじめ県内外に周知し、利用を促進するとともに、本県経済社会の自律的な発展を推進する。

新車両基地



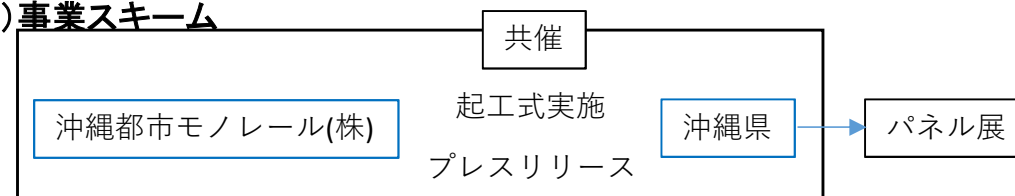
3両編成車両イメージ図



(1) 事業内容

復帰50周年の節目の年に沖縄都市モノレールの3両化に係る新車両基地の整備に着工することから、起工式を開催し、3両編成車両の新規導入に向け事業に着手することをアピールするとともに、県民の足として利用される今日までの50年のあゆみをパネル展等を通じて広く県民等へ発信する。

(2) 事業スキーム



(3) 復帰50周年事業として位置づける意義・効果

沖縄都市モノレールが、本土復帰の年に沖縄振興開発計画においてその必要性が提起されてから令和4年度は、50年の節目の年となる。

その後、沖縄都市モノレールは、様々な検討・調整を経て、平成15年に開業し、県民のみならず多くの観光客にも利用され、現在は、更なる利便性向上を図るため、車両の3両編成化や車両とホームとの段差解消、ホームドアの開口幅の改善に取り組んでいるところ。

令和4年度に3両編成化に係る新車両基地整備に着手することにより、沖縄都市モノレールの更なるイメージアップ及び利用促進を図り、今後もより多くの県民に親しまれ、愛される公共交通機関を目指す。